

2019年度 傾斜的研究費（全学分）  
社会連携支援（都連携研究支援・社会連携活動支援） 研究報告書

【研究費区分】：社会連携活動支援

【研究代表者所属】：理学研究科 生命科学専攻

【研究代表者氏名】：黒川 信

【研究代表者氏名フリガナ】：クロカワ マコト

【研究代表者職】：准教授

【研究分担者（所属,氏名,職）】

- ・谷口 央（人文社会学部・教授）
- ・福土政広（健康福祉学部・教授）
- ・笥 幸次（システムデザイン学部・教授）
- ・沼田真也（都市環境学部・教授）

【研究課題名】：島嶼地域での学外・体験型社会人・シニア教育プログラムの開発研究

【研究実績の概要（200字程度で記入。図、グラフ等の使用も可。）】

- 1) 社会人・シニア層を対象とした宿泊型の学外・体験型プログラムを地域と連携して開発・実施した。
  - ・ 神津島にて 5/25-26 に社会人 6 名対象に「野外講座」（神津島村観光協会連携）を開講。
  - ・ 伊豆大島にて 7/2-3 事前調査。下記オープンユニバーシティ講座、およびプレミアムカレッジ講座の開催につなげた。
  - ・ 八丈島にて 1/11-13 に社会人 12 名対象に「野外講座」開講。
- 2) 主に島民を対象にした公開講座を地域と連携して企画、実施した。
  - ・ 「八丈島民大学講座」（八丈文化協会・七島信用組合連携）を 9/8-9 に開講。七島信組の協力でテレビ会議システムにより伊豆大島で同時開催。

【研究成果の都民への還元あるいは東京都への政策提言】

本研究の成果を背景に、下記 2 件の学外体験型講義を OU と PC に提供し、2020 年度以降も継続提供予定。

- ・ オープンユニバーシティにて「リカレント理科教育：現場実習」（大島町ジオパーク推進委員会連携）を、主に教員の受講生 9 名を対象に 8/2-4 に開講。
- ・ プレミアムカレッジにてアディショナル科目「東京の『離島』を学ぶ」をカレッジ生 15 名対象に 2/7-8 に開講。

大学レベルの学びを求める社会人、シニア教育をはじめリカレント教育を行なう上で東京の洋上に広がる島々は、大変に魅力的でユニークなフィールドである。地域社会との密接な連携基盤に基づいて実施する宿泊型講座は、地域の魅力を発掘、再発見し、単なる「観光」とは異なる形で発信するものであり、公立大学としての存在意義を高めるとともに地域活性化の一翼を担うと考えられる。

**【東京都以外への社会への提言や活動の実績】**

- ・ 該当無し

**【外部研究費等への応募状況】**

- ・ 該当無し

**【科学研究費補助金や国等の提案公募型研究費，企業からの受託研究費・共同研究費の獲得状況】**

- ・ 該当無し

**【出版したことによる波及効果】**

- ・ 該当無し